

支援が必要な子どもたちの「声」を受け止める機関を実現

公明党 鈴木ひでし

県が「かながわ子どもの声センター」を設立

義務付けました。

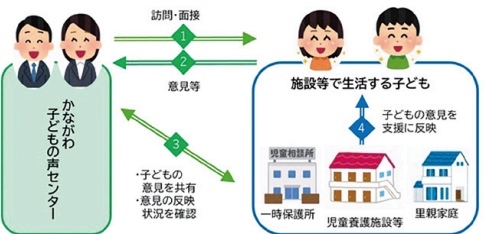
そして今年4月9日、

親からの虐待などで、た家族のことや将来のことについて県は、子どもの願
子どもが被害に巻き込まれる事件報道が後を絶ちなど様々な感情を抱くこ
ません。私は、こうしたともあるとのことです。センター」の設置を発表
ニュースを聞く度に一政ただ、日頃お世話になっ しました。具体的には、
治家として、子ども自身 ている人に心配をかけた 子どもの意見を聞くため
が自らの人権を主張でき せたくないなど思い悩 ある「意見表明等支援
と神奈川県をつくりたい 思慮しておりました。 み、声に出すことをため 員」が、児童相談所の一
と全国には、親の病気や 虐待などの事情から家族 と聞ききました。

県議会で粘り強く提言

里親家庭などで暮らす子 どもたちが4万2千人程 oughした子どもたちの声 をしっかりと大人が受け 止める仕組みを、何とし は、訴えがようやくく

は、施設の職員さんや里 親さんの深い愛情のも と、健やかに成長され ています。時には、離れ 自身の権利を主張でき 自分意見を伝える機会



る。「かながわアド ボカシーセンター」 が、自らの思いを声に出 を設立すべきと提 言。その後の県議会 で、その必要性と役 割を担うセンターの 設置を繰り返し訴え てきました。

国もこの動きと並 行し、児童福祉法を 改正。令和6年4月 から、子どもの意見 表明や権利擁護に向 けた環境を整備する ことを、都道府県に

るのか今後も注視して きます。また、子ども の健全育成、権利擁護の充 実強化に向けて、県当局 に積極的に政策提言して まいります。



モットーは「まかせて安心!
いのちと生活を守る!鈴木ひでし。」

第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。現在、文教常任委員会、予算委員会

<http://www.hideshi-suzuki.com/>



センターの概要を
動画でも
紹介しています